

# 一般質問通告書

受領日時 令和4年11月28日 午前11時40分

5番 氏名 椎名 志保

質問項目	質問の要旨
1. 被災農地への支援と今後の農業をどうしていくか	<p>(1) この夏の豪雨では農地へも多大な被害があった。被災した農地の耕作者は、なかなか復旧作業の進まない現状と具体的な説明が無いことに不安な気持ちが高まっている。農業被害に対しては、農業用施設や機械等、病害虫駆除のための追加の薬剤費や種子・種苗購入に対する補助、融資に対する利子補給のみで、町からの直接的な支援は何も無い。また復旧に係る費用負担はどうなるのか。被災した農地の耕作者に手厚く支援し、営農意欲を失い離農することにつながらないよう町として努めるべきではないか。</p> <p>(2) 農業経営基盤強化促進法が一部改正され、来年4月から2年間で農地の集約を進めるなど、農業の将来のあり方を示す「地域計画」を各市町村が策定することになった。各農家への意向調査の100%回収、農業委員会が一筆一筆調べるなど膨大な作業であることが予想される。町はどう取り組むのか。課題とされることは何か。どうクリアして進めていくのか。</p>
2. ベッドタウン化を目指すまちづくりへ	<p>(1) 町の現在の雇用状況は、どういったものか。また、企業誘致の可能性に動きはあるか。</p> <p>(2) 企業誘致は容易ではない。企業誘致の可能性を模索しながらも、徹底したベッドタウン化を目指してはどうか。全国では、出生率の向上や、独自の政策で移住・定住に成果を上げている自治体も確かに存在する。その多くが子育て支援に重点を置いたまちづくりを掲げ、更に住宅支援や就労支援などを合わせて行っている自治体だ。これまで住まいへの手立てもすべきと提案してきたが、なかなか取り組んでいただけない。子育て支援に加え、どんな施策で少子化を打開し、若い世代の移住・定住を目指すとしているか。</p>
3. 誰ひとり取り残さない町に	<p>(1) 依然コロナ禍であり、ワクチン接種事業で担当課の多忙さは終わりが見えない。ですが問題を抱えるご家庭は困難さが増し、問題の複雑化も叫ばれている。相談対応業務が疎かになってはいないか。困難にある町民が置き去りにされてはいないか。対応の現状を伺う。</p> <p>(2) どんな相談でもワンストップで受ける、「断らない」相談支援、多職種連携による包括的な支援を切れ目なく行う</p>

	<p>「重層的支援体制整備事業」を社会福祉協議会と連携し行っていただくことを6月定例会で提言させていただいた。実施に向けて準備を進めていくとの答弁であったが、進捗状況はどうか。</p>
<p>4. 生活観光をどう展開していくか</p>	<p>(1) 県が策定している秋田県観光ビジョンで、当町は秋田地域のプロジェクトに組み込まれ、朝市を核とした「生活観光」の取り組みが掲げられている。朝市が衰退している中、どう展開していくのか。</p> <p>(2) 町の大事な観光資源のひとつである森山の登山道が、倒壊していた擁壁の改修工事が行われたにもかかわらず、その他危険箇所があるとの理由で、通信事業者により通行止め・立ち入り禁止措置継続との意向が耳に飛び込んで来た。これでは森山は観光資源になり得ない。</p> <p>今こそ通信事業者の管理道路を町に移管し、登山道として整備すべきではないか。それが叶えられずに来た支障となっている理由は何か。</p>